事例No.	2689
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	鹿島酒蔵ツーリズム推進協議会

事例区分	地域活性化

タグ	・観光 ・関係人口 ・地域運営組織

事例種類	地域活性化

事例内容・タイトル

鹿島酒蔵ツーリズム推進協議会

出典

令和元年度ふるさとづくり大賞事例集

最優秀賞

鹿島酒蔵ツーリズム推進協議会

佐賀県鹿島市

地場産品発掘・ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ化　観光振興・交流　まちなか再生　産業振興　コミュニティ

概　要

鹿島市は日本酒の自社製造蔵が６蔵あるなど、全国でも類を見ない日本酒の街である。この地域で酒造業を営む富久千代酒造が、平成23年にIWC（インターナショナル・ワイン・チャレンジ）において、チャンピオン・サケを受賞したことを契機に鹿島の日本酒を活用した地域づくりを模索する動きが興った。

その流れの中から、国内外に向けた鹿島の日本酒や独自の歴史・文化の情報発信、酒蔵・日本酒を活かした地域活性化を行う本団体が設立された。現在は毎年３月に開催する「鹿島酒蔵ツーリズム」PRイベントを核に、通年型の「鹿島酒蔵ツーリズム」の発展を目指して、地域住民、企業、自治体を巻き込んだ取組を展開しており、同協議会の取組は全国の類似した取組の嚆矢となっている。



【鹿島酒蔵ツーリズム推進協議会】
（関係酒蔵集合写真）

評価された点

・平成23年に地元の酒蔵の日本酒が世界一に輝いたことを契機に、酒蔵の建ち並ぶ街並みや歴史、文化などの地域資源を再認識し、さまざまな主体との協力体制を構築して、確実に活動の幅が広がっている。国内外に積極的に情報発信を行い、地域全体の魅力向上に努め、多くの観光客を集めるようになり、各地のお酒のツーリズムの嚆矢となったことは高く評価できる。
・国内の酒蔵ツーリズムのトップランナー。インバウンドへの対応も進み、他地域からの視察が絶えないモデル事例。
・酒蔵ツーリズムの先駆的存在。酒の品質は国内外で認められ、ツーリズムとしても他地域の模範になる効果をあげている。



【肥前浜宿（酒蔵通り）】

鹿島は「世界一の酒が生まれたまち」と呼ばれるようになり、県内外から注目を集め、訪れる人も増加した。地域のシビックプライド醸成にも影響を与えた。
・日本酒を活用した地域づくりを目的とするイベントの継続実施から地域住民の協力を得た観光分野への波及効果が伺える。加えて、取組をきっかけとした移住者らによるゲストハウスを運営する公社の設立等、新しい地域の資源の増進に寄与している。
・観光資源が点在しながらも、ルーティングがないため、交流者誘導になっていなかった課題を解決させた。「酒蔵」「街道文化」「発酵文化」と着実に地域全体をツーリズムへと結び合わせている。